

『次世代モビリティカレッジ』 開講のご案内

- ▶ DX ≪ DIGITAL TRANSFORMATION ≫
- ▶ EV ≪ ELECTRIC VEHICLE ≫
- ▶ CAR DESIGN

こんな方におすすめです！

受講
無料

- ✓ DXとはよく聞くけど、とても難しそう・・・
- ✓ 自動運転のセンシングやセンサって、どんな働きがあるの？
- ✓ 電動化自動車の仕組みって、どうなってるの？
- ✓ クルマやモノのデザインって、どこから生まれるの？ etc...

総勢：5名の講師陣が「わからない…」に応えます！
(各テーマ6時間の講義時間になります。)

- 実施期間：2024年11月9日(土)～2025年1月まで
- 実施会場：独立行政法人国立高等専門学校機構
一関工業高等専門学校（一関市萩荘字高梨）
- 応募対象：県内大学生、高専生、専攻科生、企業従事者、求職者など
- 参加定員：約20名
- 講義議題：一部の講義テーマをご紹介します！

「ラズパイや Arduinoを使ったCAN通信の実演」
「モビリティの走行性能設計」
「自動運転レベル4の実現に向けた通信技術と制御技術の応用」
「モビリティデザイン」
「カーボンニュートラル社会の実現と電動化技術」

※本事業は岩手県より当校が委託を受けた「令和6年度北上川バレーDX推進高度人材確保促進事業～次世代モビリティ社会を担う自動車関連高度技術者育成プログラム～」のうち、次世代モビリティ社会に対応できる製品開発力、生産技術力を習得させる講義、共同研究等を実施し、自動車関連高度技術者を世代ごとに段階的に育成することを目的としています。

【お問合せ先】

一関工業高等専門学校 地域共同テクノセンター 2F
北上川バレーDX推進高度人材確保促進事業 事務局
・担 当：加藤宏和（メール：hirokat@ichinoseki.ac.jp）
・TEL：0191-24-4745/FAX：0191-24-4798

講座内容／講師のご紹介

講座番号	実施日	講座名	内容	講師
EV01	11月09日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30	ラズパイや Arduinoを使ったCAN通信の実演	・CAN通信の基礎講座 ・ラズパイを使ったCAN通信の実演 ・Arduinoを使ったCAN通信の実演 ・CAN通信の応用例（回路基板開発事例、ロボティクスへの応用例※） ※ROSとEdgeを効率的につなぐ開発手法の紹介	AKSEL-LAB 佐藤 洸太 氏
EV02	11月23日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30	モビリティの走行性能設計	モビリティの基本機能である「走る・曲がる・止まる」。あたりまえの性能で簡単に考えがちですが、モビリティを安心・安全・快適に走らせようとすると奥が深い世界。本講義では、狙いの走行性能を発揮させるためのモビリティの設計の考え方を学びます。	三菱自動車工業株式会社 澤瀬 薫 氏
EV03	12月07日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30	自動運転レベル4の実現に向けたモデルベースに基づく通信技術と制御技術の応用	高度な自動運転レベル4環境を実現するため、 1) CASE技術 2) センサ技術 3) 次世代車間・車路間通信技術 3) 自動運転OS技術 4) 自動運転制御技術 5) アプリケーションソフトウェア について、モデルベース手法に基づいて解説します。	岩手県立大学 柴田 義孝 氏
EV04	12月14日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30			
EV05	12月21日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30	モビリティデザイン (What's Mobility Design? 自動車のデザイン要素とその実務)	自動車にデザインが必要な理由、デザインに影響を与える要因（価値観・時代性他）、デザインワークのプロセス、必要な知識とスキル、仕事に向き合う意識等について事例を交えて解説します。	岩手県立産業技術短期大学校 多田 誠 氏
EV06	12月22日(日) ・開講 9:30 ・閉講 16:30			
EV07	1月18日(土) ・開講 9:30 ・閉講 16:30	カーボンニュートラル社会の実現と電動化技術	・気候変動に対する取り組みとカーボンニュートラル社会の実現 ・電動化技術の歴史 ・PHEVの誕生と技術的な価値 ・今後の電動化技術	三菱自動車工業株式会社 山下 寛康 氏



【お問合せ先】

一関工業高等専門学校 地域共同テクノセンター 2F

北上川バレーDX推進高度人材確保促進事業 事務局

・担 当：加藤宏和（メール：hirokato@ichinoseki.ac.jp）

・TEL：0191-24-4745／FAX：0191-24-4798